

いいけえ



チャレンジ
してみんさい



ためになるけえ

ICTと映像コンテンツを活用した 未来型授業の創造

大会テーマ／ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション

第22回 視聴覚教育総合全国大会 第69回 放送教育研究会全国大会

合同大会
(広島大会)

●公開保育・公開授業

会場／広島市内各園・校

※1 功労者表彰・レセプションは
ひろしまおりづるタワーが会場になります。

午前

8時30分

午後

12時

19時

21時

公開保育・公開授業

公開授業・協議会等

移動

受付

※1 功労者表彰
レセプション

※各園校で公開時刻が異なります。詳しくは、各園校のページをご覧ください。

●研究交流・施設見学 (生涯学習)

会場／広島市映像文化ライブラリー

13時

19時

21時

研究交流・施設見学

理事会・総会

移動

受付

※1 功労者表彰
レセプション

●会場／広島国際会議場

午前

9時

9時20分

10時

11時15分

午後

12時

12時50分

14時

15時10分

16時30分

17時

受付

ワークショップ・セミナー

移動

全体会

昼食・休憩

実践発表

移動

対談・大会のまとめ

移動

抽選会

視聴覚教材・教具展示(最新のICT教材・教具を一堂に展示します)

2
目
日
17
日
土

会場

開催日 平成30年 11/16金・17土 開催地 広島県広島市

- 広島市立川内幼稚園 ■広島市川内保育園 ■川内菜の花幼稚園・保育園 ■みのり愛児園 ■広島市立川内小学校
- 広島市立城山中学校 ■広島市立広島特別支援学校 ■広島市映像文化ライブラリー ■広島国際会議場 ■ひろしまおりづるタワー

主催／全国放送教育研究会連盟、NHK

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会(日本学校視聴覚教育連盟、全国高等学校メディア教育研究協議会、全国視聴覚教育連盟、一般財団法人日本視聴覚教育協会)

共催／中国地方放送教育研究協議会、広島県放送教育研究協議会、広島県小学校教育研究会視聴覚教育部会

広島県中学校教育研究会視聴覚教育部会、NHK サービスセンター

主管／第22回 視聴覚教育総合全国大会 第69回 放送教育研究会全国大会 合同大会(広島大会) 実行委員会

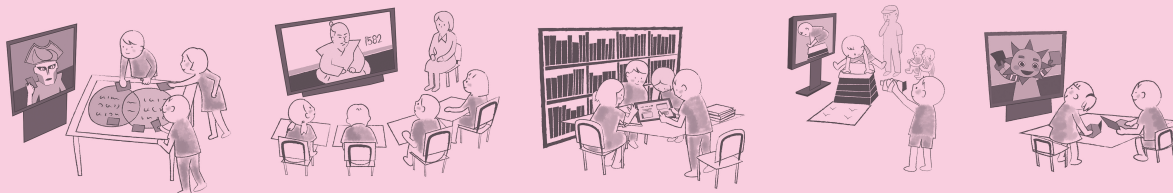
後援／内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、日本教育メディア学会、日本教育工学会、日本教育工学協会、日本視聴覚教具連合会(公社)映像文化製作者連盟、広島県教育委員会、岡山県教育委員会、鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、山口県教育庁、広島市教育委員会、広島市私立保育園協会、広島市立幼稚園長会、広島市私立幼稚園協会、広島県連合小学校長会、広島市小学校長会、広島県公立中学校長会、広島市公立中学校長会、広島県公立高等学校長協会、広島市PTA協議会 (一部申請中)

大会の
ねらい

今、子供も、大人も、未来の社会を見据えて成長していくことが求められています。私たちは、学習者の資質・能力を高めるために、どのようにタブレット端末や実物投影機などのICT機器に習熟し、放送番組や映像教材などのコンテンツの活用スキルを磨いていけばいいのか。時に冒険もいとわず、継続してチャレンジしてきたその道のりと、秋までの成果をお見せします。
「(I)いいけえ (C)チャレンジしてみんさい (T)ためになるけえ」を広島の地で共有しましょう。



大会コーディネーター
園田学園女子大学 教授
堀田 博史



公開保育・公開授業 1日目【11/16(金)】 各会場園・校

かわうち

● 川内地区公開園について

川内小学校区には公私立の幼稚園・保育園が4園あります。4園は交流事業を積み重ねながら共通の研究主題のもと「育てる子供の姿」を共有し、川内小学校への円滑な学びへとつないでいます。公開保育では、それぞれの園の特色を生かして取り組んできた「遊び・学び・育つ」創造的で継続的なのびやかな保育を公開します。

広島市立川内幼稚園

受付 9:00～ / 公開保育 9:20～

組(歳児)	活用番組	保育者
4歳児	『ノージーのひらめき工房』	松原 亜希
5歳児	『ノージーのひらめき工房』	北井 都希子

広島市川内保育園

受付 9:00～ / 公開保育 9:30～

組(歳児)	活用番組	保育者
5歳児	『お話でてこい』	村越 美幸

川内菜の花幼稚園・保育園

受付 10:15～ / 公開保育 10:45～

組(歳児)	活用番組	保育者
3～5歳児(幼稚園・保育園)	『ノージーのひらめき工房』	福原 志真子 小島 智恵

みのり愛児園

受付 9:45～ / 公開保育 10:00～

組(歳児)	活用番組	保育者
5歳児	『えいごであそぼ』	井手 清美 山田 奈央

川内地区公開園は
複数ご覧いただけます

各園は徒歩10～15分で移動ができます。複数園をご覧いただくことをおすすめします。

(例) 保育園を中心に参加:川内保育園 → 川内菜の花保育園もしくはみのり愛児園

幼稚園を中心に参加:川内幼稚園 → 川内菜の花幼稚園

3園参加:川内保育園もしくは川内幼稚園 → みのり愛児園 → 川内菜の花幼稚園・保育園

幼小連携授業を
14:00から
川内小で行います



※昼食会場は川内小学校

◆ 公開保育後の取組

※いずれも川内幼稚園に隣接した川内小学校で行います。

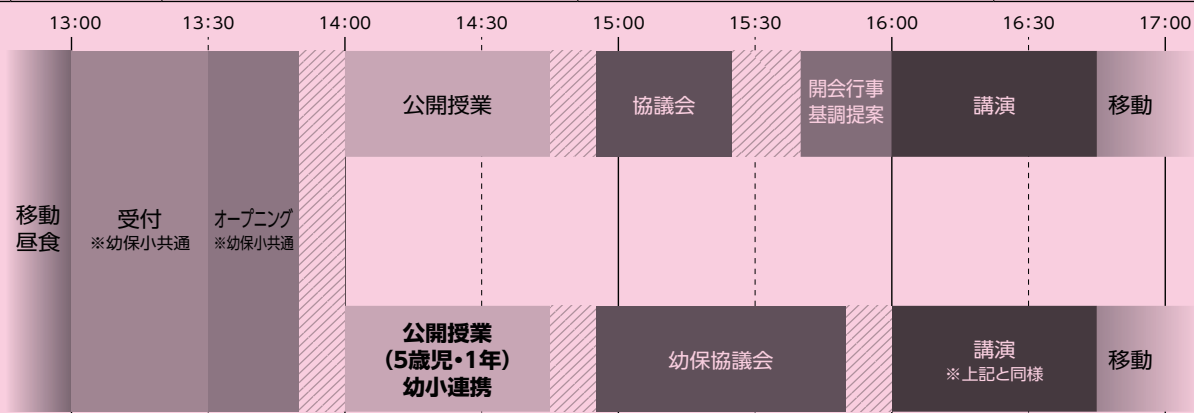
- ◇ 幼小連携授業 14:00～14:45 川内幼稚園5歳児・川内小学校1年生
- ◇ 幼保協議会 14:55～15:50
- ◇ 講演 16:00～16:45 講師:寺嶋 浩介(大阪教育大学大学院 准教授)

● 学校紹介

川内学区は、太田川によって形成された沖積地の輪中にあります。近郊農業が盛んで日本三大漬物の1つである「広島菜漬」発祥の地とされています。児童数は農地の宅地化が進み現在1,100名を超える大規模校です。古くから大切にしてきた地域の教育力と新しい学びとが融合され、幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携による新たな「川内学園」としての学びを形成し、20年後、さらに先までも役立つ力を求めて歩みを進めています。

広島から発信する「未来型授業」とは、社会の変化に柔軟に対応しながら、情報を選択し、協働しながら生きていく力を育む授業です。そのツールとしてICTや映像コンテンツを効果的に活用することで子供は、豊かで深い学びを広げます。新たなツールと美しい板書の融合が生み出す未来に続く授業を展開します。

学年	教科等	単元名・題材名	教材名・番組名・ICT機器など	授業者
川内幼稚園・川内小学校(幼小連携授業)				
5歳児 1年4組	生活	つくろう あそぼう	実物投影機	北井 都希子 原田 美栄
川内小学校				
1年2組	道徳	ラッパーのはやりうた ところをこめて	『新・ざわざわ森のがんこちゃん』	藤井 祐佳
2年4組	国語	あそびのやくそくを話し合おう	デジタル教科書、ビデオ	中尾 由佳
2年7組	算数	分数	『さんすう犬ワン』	山下 綾子
3年1組	算数	分数	デジタル教科書	西谷 望 浦上 公江
3年3組	総合	つながろう 地いきと友だち 広島菜	タブレット端末	香川 真吾
3年5組	音楽	シラソでせんりつづくり	『おんがくブラボー』	安田 遥
4年1組	総合	温井を忘れない	『しまった!』	古林 啓太郎
4年5組	国語	くらしの中の和と洋	大型テレビ 実物投影機	小林 友香
5年1組	体育	とび箱運動	『はりきり体育ノ介』	城明 雅人
5年4組	英語	ほしいもの～ほしい食べ物～	大型テレビ	萬城 郁子 中川 麻里子
5年6組	社会	わたしたちの生活と工業生産	『未来広告ジャパン!』 デジタル教科書	有川 花香
6年3組	社会	わたしたちの生活と政治	『歴史にドキリ』	上山 慎司
6年5組	総合	広島菜で挑戦	『メディアタイムズ』	玉田 匠
特別支援学級 (自・情)	生活単元	おもパーティーをしよう	『見えるぞ!ニッポン』 タブレット端末	上田 浩水 田中 弘美
特別支援学級 (知的)	自立活動	順序立てて考えよう	『スマイル!』	堀口 直香 松尾 尚子
城南中学校 ※会場は川内小学校です。				
1年5組	理科	いろいろな気体とその性質	『考えるカラス』タブレット端末、PC	藤本 大輝



広島市立
川内小学校

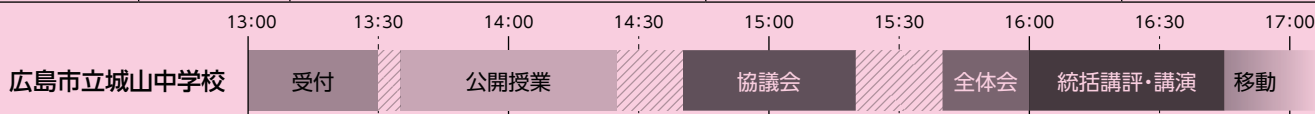
◆ 公開授業後の取組

- ◇ 協議会 14:55～15:25
- ◇ 開会行事・基調提案・講演 15:40～16:45 講師:寺嶋 浩介(大阪教育大学大学院 准教授)

● 学校紹介

本校は広島市西部に位置し、生徒数226名9学級、開校から32年目を迎えました。「一丸となって授業改善に取り組む教職員」を合言葉に授業改善に取り組んでいます。改善の視点は「生徒と教材をつなぎ、主体的な学習を仕組む」「生徒同士をつなぎ、考えを広め、対話的な学習を仕組む」「個々の生徒の中でつながりをつくり、深まりのある学習を仕組む」です。つながりを創る過程でICTや映像教材はどのように活用できるのか。私たちは反省的で継続的な授業改善をすることが、学校教育の原点であると考えています。

学年	教科等	単元名・題材名	教材名・番組名・ICT機器など	授業者
1年1組	美術	モダンテクニック ～技法の制作VTRをつくろう～	タブレット端末、モニター	福本 八代奈
1年2組	道徳	生命を考える ～動物と生きていくためには～	『オン・マイ・ウェイ!』	中野 由理
2年1組	社会	日本の人口 ～少子高齢化って何が問題なの?～	『10min. ボックス 地理』	水原 基晶
2年2組	体育 (男女)	バスケットボール ～3on2の攻め方を考えよう～	タブレット端末	長尾 強司 坂本 乃梨子
特別支援学級	理科	光による現象 ～光のはね返し方～	『大科学実験』	藤田 正人



◆ 公開授業後の取組

- ◇協議会 14:40～15:20
- ◇統括講評・講演 16:00～16:45 講師:深見 俊崇(島根大学 准教授)

● 学校紹介

本校は、ここ宇品の地に平成24年に移転・開校してから6年が経ちます。「児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。」ことを教育目標とし、日々「わかる、できる、かかわりあう」授業づくりを目指しています。本校は、広島市立特別支援学校として、センター的機能を果たす役割を担っています。知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校ではありますが、比較的軽度と言われる児童生徒から、医療的ケアが必要な、いわゆる重度・重複障害と言われる児童生徒まで、幅広い児童生徒が通っています。児童生徒一人一人の特性や実態に応じた、適切な指導と必要な支援を考え、日々の指導を行っていく中で、支援ツールの一つとしてのICTの有用性や効果的な活用方法についても研修を重ねているところです。

学年	教科等	単元名・題材名	教材名・番組名・ICT機器など	授業者
小学部 2年2組	日常生活の指導	朝の会	『みいつけた!』タブレット端末	渡辺 優花
小学部 5年2組	日常生活の指導	みんなで作る朝の活動・朝の会	『ストレッチマンV』『で～きた』 モニター、タブレット端末	益田 峻佑
中学部 2年4組	日常生活の指導	自分たちで朝の活動をしよう	PC、モニター	佐々木 雄輝
中学部 2年7組	日常生活の指導	給食を食べよう	タブレット端末	清水 裕子
高等部 1年10組	日常生活の指導	朝の活動	タブレット端末	辻 操
高等部 1年A、B組	職業	職場に必要な態度を身に付けよう	タブレット端末	村上 由紀



◆ 公開授業後の取組

- ◇協議会 12:45～14:00
- ◇ポスターセッション 14:15～14:45
- ◇講演 15:00～16:30 講師:井澤 信三(兵庫教育大学大学院 教授)

研究交流(生涯学習) 1日目【11/16(金)】 広島市映像文化ライブラリー

●研究交流・施設見学 13:30~15:30

各団体理事会 1日目【11/16(金)】 各会場

- 全国視聴覚教育連盟理事会・全国公立視聴覚センター連絡協議会総会 15:30~16:30 会場:広島市映像文化ライブラリー
- 日本学校視聴覚教育連盟理事会・全国高等学校メディア教育研究協議会理事会 17:30~18:15 会場:広島県立総合体育館
- 中国地方放送教育研究協議会代表者会 17:30~18:15 会場:NHK広島放送局

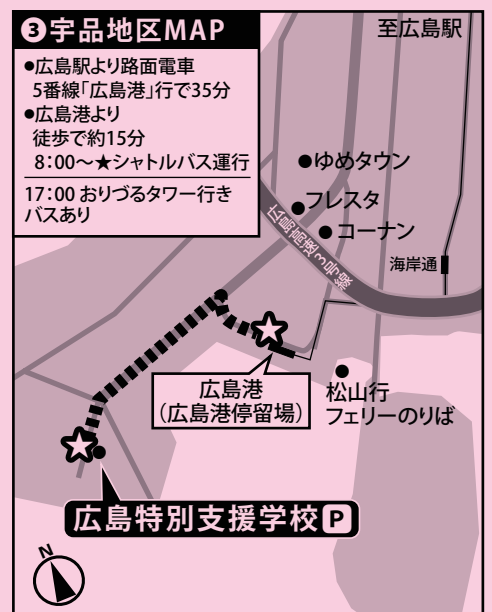
功労者表彰式・レセプション 1日目【11/16(金)】 ひろしまおりづるタワー

●表彰式・レセプション 19:00~

これまで視聴覚教育、放送教育にご尽力いただいた功労者の方々に感謝の気持ちを表します。その後、本大会の参加者及び関係者が一堂に会したレセプションを行います。全国から集まった皆様と情報交換しながら楽しいひとときを過ごしていただきます。

各会場園・校へのアクセス

☆はシャトルバス発着(無料) Pは会場への駐車可



ワークショップ・セミナー

2日目[11/17(土)] 広島国際会議場 9:20~11:00

「情報活用能力の育成」「タブレット端末の活用」「番組・動画クリップ活用」「プログラミング学習」「ICT活用指導力向上」等をテーマにワークショップやセミナーを行います。

No.	テーマ	形式	内容	指導講師
1	番組と思考ツールで実現する「主体的・対話的で深い学び」	ワークショップ	今年度、先行実施が始まった新しい学習指導要領。その中で重視される「主体的・対話的で深い学び」を、“番組”と“思考ツール”を組み合わせることで実現する方法を学びます。まず、NHK『しまった！～情報活用スキルアップ～』で、付箋や思考ツールを用いて情報を整理する力を養います。次に社会など教科の番組で授業を進める際、その力を使って学びを深めます。こうした一連のプロセスを考えるワークショップです。	泰山 裕 (専門教育大学大学院 准教授)
2	番組で簡単！教科に位置づくプログラミングの授業	ワークショップ	小学校の各教科や総合的な学習の時間、中学校の技術など。NHK『Why!?プログラミング』と「スクラッチ」を使えば、誰でも簡単にプログラミング教育の授業ができます。まずは子どもたちに興味を持たせ、次に作りながら学び、最後に創造する。その際、番組やホームページを活用することで、教科に位置づいた内容で授業を進めることも可能です。ワークショップでは「スクラッチ」の使い方から順を追って体験していきます。	西端 律子 (畿央大学 教授)
3	体系的・組織的に取組む情報モラル教育	ワークショップ	ICTを活用した学習指導を効果的に行うために、学校における体系的で組織的な情報モラル教育の在り方について解説します。また、校務分掌や各教科・領域における情報モラル教育の展開についてワークショップを行います。	阿濱 茂樹 (山口大学 准教授)
4	徹底解説！新学習指導要領と番組&ICT活用の深い関係	セミナー	今年度から移行期間・先行実施に入った新学習指導要領では、教育活動の「質の向上」が求められています。総則の解説には、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることなど、具体的な方略が示されています。本セミナーでは、新学習指導要領のポイントを読み解きながら、放送番組やICTをどう活用すれば、児童・生徒の資質・能力を高められるのか。「学習規律」から「より豊かな思考力・判断力・表現力の醸成」まで、段階ごとに丁寧に解き明かします。	高橋 純 (東京学芸大学 准教授)
5	放送教育のよさとは…放送教育の教育的効果とこれからの放送教育	セミナー	これまで全国放送教育研究会連盟では、放送教育を通して豊かな心を育むことを大切にしてきました。本セミナーでは、「今日的な教育課題に対応した授業づくりを通して、豊かな心を育むためには」をテーマに、これまで取り組んできた実践研究の成果や課題と、これからの放送教育実践として期待されることを実践事例や研究成果をもとに参会者と考えます。	全放連 研究推進部
6	視聴覚ライブラリーが地域メディアセンターとなるために	セミナー	視聴覚ライブラリーが地域における学びに役立つメディアサービスを行うためには、機能をどうリフレッシュさせ、「映画や録画教材の貸出機関」から「ICTを活用し、メディアを学び・創り・送るための学習機会の共有、技術支援、機器及び環境提供をサポートする地域メディアセンター」となるかを検討した研究報告を受け、今後の在り方を考えます。	村上 長彦 (全視連専門委員長)

全体会 2日目[11/17(土)] 広島国際会議場 11:15~11:55

- 開会行事 主催者あいさつ 来賓祝辞 各団体功労者氏名紹介
- NHKプレゼンテーション

番組制作者より、NHK for Schoolの最新動向と制作コンセプト、活用ポイント等について、紹介します。

対談・大会のまとめ 2日目[11/17(土)] 広島国際会議場 15:10~16:20

『未来を創造する力』



和田 竜さん
©Shinchosha

「対談」では、広島市出身の作家、和田竜さんをお招きします。『のぼうの城』『村上海賊の娘』で知られる和田さんは、今大会の会場校である広島市立川内小学校の卒業生です。広島で過ごした幼少期の体験とご自身の著作との関係や映像が伝える力など、将来を担う子供たちを育てる学校教育についてのお考えを山田明美校長（広島市立川内小学校）が、たっぷりとお聞きします。

対談の後、大会コーディネーターの堀田博史教授による「大会のまとめ」を行います。

視聴覚教材・機材展示会&抽選会 2日目[11/17(土)] 広島国際会議場 9:00~17:00

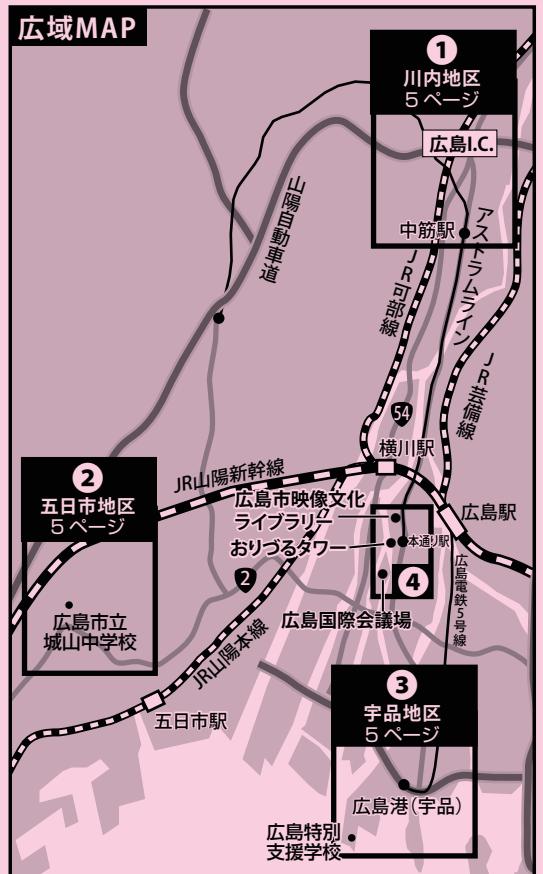
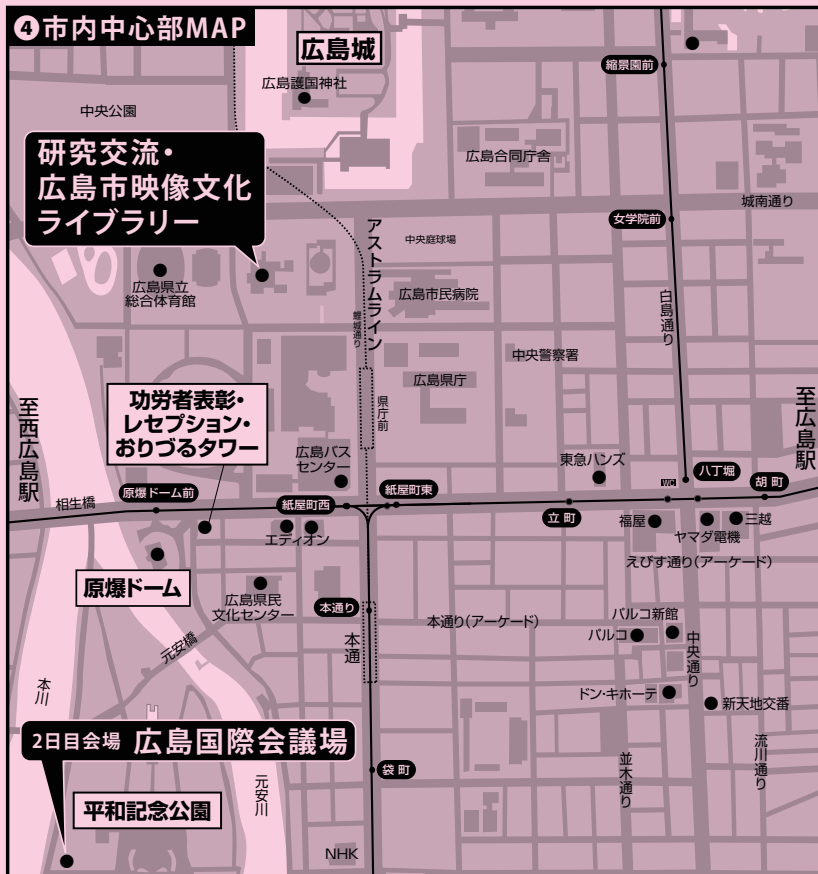
電子黒板・実物投影機・プロジェクター・デジタル教科書等、最新のICT教材・機材が展示されます。16:30からは、協賛各社の提供による豪華教材・機材が当たる抽選会が実施されます。

実践発表 2日目(11/17(土)) 広島国際会議場 12:50~14:55

テーマ毎に3名の実践者が発表し、参加者、講師と共にその効果と課題を検討、共有します。

a・b・cで異なるテーマを選択できます。[a 12:50~13:20 / b 13:25~13:55 / c 14:10~14:55 (ミニレクチャー15分を含む)]

テーマ	講師	発表者	概要	
1 【視聴覚】 プログラミング教育	a	伊賀崎 弘樹 (広島市立宇品東小学校)	複合図形の面積の求め方を説明するアニメーションをプログラミングする活動を通して、学習内容をより深く理解させ、同時にプログラミングを体験させる取り組みを行いました。その過程と成果・課題について報告します。	
	b	黒田 章弘 (広島県教育委員会 指導第一課指導主事)	荒金 岳登 (島根県東来市立赤江小学校)	小学校4年生の理科「電気のはたらき」の単元で、ロボットを使って「プログラミング的思考」の導入をしました。その授業の概要と実施後の児童の感想について報告します。
	c	鈴木 康晴 (東京都江戸川区立東小松川小学校)	4年総合的な学習の時間で校区の信号機をプログラミングする学習(アーテックの信号機)を中心に実践報告します。また、各学年の実践例を交えて、系統的なプログラミング学習について提案します。	
2 【視聴覚】 ICT活用	a	宮崎 兼志(東広島市立向陽中学校) 瀧宮 直輝(東広島市立中央中学校)	広島県東広島市地域では、「ICT機器」や「資料性が高い動画コンテンツ」などを活用することにより、クラス内対話の活性化や、課題発見とその解決に向けた主体的、創造的な学習の在り方を考えた授業展開の工夫について提案します。	
	b	小池 紘太郎 (広島県教育委員会 義務教育指導課指導主事)	田中 之陽/木曾 一希 (尾道市立瀬戸田中学校)	ICT機器を活用した「分かりやすい授業」を実現させるとともに、思考力・表現力の育成から主体的な学びへ導くことを意識した授業改善の取り組みについて提案します。また、「尾道市ICT活用実践事例集」を配布します。
	c	籾輪 幸一 (東京都台東区立金目小学校)	4年理科「月や星の動き」の学習で、学校の屋上から自動的に撮影した星空(タイムラプスカメラ)やシミュレーションソフト(ステラリウム)を用いて、教室に前夜の星空を再現しながら進めた授業の様子を紹介します。	
3 【放送】 教科に位置付ける プログラミング教育	a	大田 麻衣佳 (広島市立川内小学校)	リコーダーによる旋律づくりでは、個々の表現技能の差や、繰り返し聴いては修正する時間の制約がありました。NHK「Why? プログラミング」のスラッシュでは、どの子どもも音の高さや長さ、音色を変化させられるため、プログラミングを楽しみながら音楽づくりに取り組みました。	
	b	西端 律子 (畿央大学 教授)	谷田 健司 (鳥取県湯梨浜町立東郷小学校)	5年算科「円と正多角形」の正多角形づくりで、児童一人一人が試行錯誤する活動にプログラミングを取り入れ、「論理的思考力の育成」を目指しました。正多角形の規則性や、円との関連性について深く学ぶためにNHK「Why? プログラミング」を活用しました。
	c	小池 翔太 (千葉大学教育学部附属小学校)	「コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けること」がねらい。NHK「Why? プログラミング」の「シェイプをプログラミング」のコーナーで、身近な家電のプログラムを考えたり、それを体で表現したりする活動を理・社・総合で行いました。	
4 【放送】 幼稚園・保育園での 効果的な番組活用	a	川崎 文子/山本 由香里 (広島市立落合東幼稚園)	「なんで?」「びっくり!」と心を動かすことを幼児期には多く経験してほしい。そこで、活動の前でNHK「しぜんとあそび」を視聴し、つぶやきや表情、動きを記録。どのような瞬間に気付きが生まれたかを教師間で共有し、遊びの環境構成や支援のあり方を探りました。	
	b	堀田 博史 (園田学園女子大学 教授)	石村 芽久美 (山口県国東幼稚園)	造形遊びでは、自分なりの表現方法を見つけられず、戸惑う子どもが多くなりました。そこで、NHK「ノーゾーのひらめき工房」の視聴と造形活動を継続的に組み合わせること、子供たちは自分の思いを様々な形で表現することを楽しむ、工夫することができるようにしました。そして互いの表現を認め合うことで、相互に自信を高め、相手を思いやる心が育ちました。
	c	藤井 菜摘/山平 祐理 (北海道石狩市花川南幼稚園)	NHK「どこにんぎょう劇場」視聴後、お話の内容を振り返ったり、登場人物の気持ちを考えたり、自分の意見を出し合ったりする時間を設けました。物語の意図を自分なりに考えて日常生活の中に取り入れていくか、自分で人形を作って遊んでみたいという意欲を育てました。	
5 【放送】 主体的な学びに導く タブレット端末活用	a	有松 浩司 (広島県竹原市立吉名学園)	国語でNHK「おはなしのくにクラシック」の中の落語を視聴しました。子供寄席を開いて自分でも落語を演じる学習を行いました。寄席の開催に向けて、より豊かな表現を目指して、タブレット端末を活用して、同番組の様々な演者の演技を自由に学ばせるなどの機会を作りました。	
	b	高橋 純 (東京学芸大学 准教授)	藤木 謙壯 (岡山県備前市立日生西小学校)	朝学習でNHK「Q～こどものための哲学」を視聴し対話のスキルを継続的に高めました。同時にNHK「歴史にドキリ」を単元冒頭で視聴。その後の「調べて・まとめて・伝える活動」で、タブレット端末を使った個別情報収集とグループ情報共有を繰り返し、発展的な課題探究につなげました。
	c	東森 清仁 (神奈川県横浜市立仙向小学校)	特別支援学級における体育の学習で、NHK「ストレッチマンV」の感覚運動遊びを通して身体操作能力向上を目指しました。まず番組を全体で視聴。その後タブレット端末で個別に見てイメージを補強したり、自分の活動を撮影してポスターイメージを養ったりする活動を繰り返しました。	
6 【放送】 情報活用能力の育成を 図る番組活用	a	古瀬 健太郎 (広島市立大洲小学校)	6年の総合を探究的な学習となるように設計し、情報活用能力の育成を目指しました。他者意識と目的意識を持たせるため「調べて」を後継に継承する」と設定。探究の各過程に合わせてNHK「しまった!」を視聴し、活動の中で技能を磨いていきました。	
	b	佐藤 和紀 (常葉大学 講師)	大久保 紀一郎 (島根県津津市立津宮小学校)	メディア・リテラシーとともに各教科における情報活用の基盤となる力を高めるため、「映像を読み解く力」の育成を目指しました。NHK「メディアタイムズ」の視聴の度に、個人で「視聴ノート」にまとめて「作業と、それをもとに友達と話し合う」活動をセットで継続的に行っていました。
	c	内田 裕斗 (愛知県岡崎市立新香山中学校)	総合で「情報収集」「整理・分析」までは充実していても、アウトプットの段階で有効な表現にたどり着けない生徒が多く見られました。そこで、特に「まとめ・表現」の充実を図るためにNHK「しまった!」を活用。「相手にわかりやすく・具体的に伝える」スキルを獲得させました。	
7 【放送】 考え、議論する道徳と 番組活用	a	中村 敏裕 (広島市立古田小学校)	「自己の生き方について考えを深める学習」を設定。NHK「Q～こどものための哲学」で思考力と対話力を磨き、NHK「オン・マイ・ウェイ!」では道徳的価値について実社会の出来事に照らして深く考えるようにしました。自校の道徳教育重点目標に沿って視聴を年間計画に位置づけました。	
	b	深見 俊崇 (島根大学 准教授)	濱村 隆志 (鹿児島県西之表市立格城小学校)	2年道徳で、低学年向けの「心情追及」はもちろん、高学年向けの「価値追求」の授業の構築を目指しました。登場人物の心情が理解しやすいNHK「新・ざわざわ森のがんばりちゃん」の継続視聴で、他者との対話を深め、主題と自分とをつなげて考えを段階的に高めていきました。
	c	天野 倫子 (宮城県仙台市立錦ヶ丘小学校)	教科書で学んだ道徳的価値を生かしながら番組を視聴していく実践。自校の重点目標「おもいやり」に関連した学習内容について、「自分ならどうするか?」を問うNHK「時々迷々」をもとに、各自で考えをしっかりと持たせ、他者と伝え合いながら深めていく学習を継続しました。	
8 【放送】 協働的な学びを促す 番組活用	a	直井 瑞枝 (広島市立川内小学校)	NHK「ノーゾーのひらめき工房」の活用によって幼稚園で身に付けた発想力や想像力に、小学校でスキルを加えることでより高い学びを実現させる実践。学びの基礎となるスキルを得るために「スマイル!」を視聴し、考えを伝えたり、認め合ったりする力の育成を目指しました。	
	b	泰山 裕 (専門教育大学院 准教授)	松本 真介 (愛媛県松山市立椿小学校)	NHK「歴史にドキリ」を話し合い活動の根拠となる情報源として視聴。続く深める活動では、テーマ別に分かれ、タブレットで番組を再視聴したり動画クリップで関連情報を収集したりしました。その後、全体で情報を共有するなど、動画視聴と協働的な学びを結びつけました。
	c	斎藤 有紀/今野 智之 (宮城教育大学附属特別支援学校)	特別支援学校1~4年生を対象にNHK「ストレッチマンV」の感覚運動遊びを活用し、互いの様子を動画で記録し見合うなどして、共に学ぶ時間を設けました。低学年の児童には、さまざまな身体の動かし方の習得、中学年の児童には、他者とかわる力の育成を目指しました。	
9 【放送】 番組を活用した 未来型授業の創造	a	福田 隼人 (広島市立南観音小学校)	新しい学習指導要領の内容を先取りしたNHK「ふしぎエンドレス」を活用して、2年後の完全実施に向けての知見を提案します。実験方法や実験結果・考察等について、お互いに知識や考えを伝え合い議論することを通じて、「見方・考え方」を意識した授業を展開します。	
	b	堀 達司 (広島文化学園大学 講師)	岩崎 有朋 (鳥取県岩美町立岩見中学校)	中学では、一人の知識や考察では解決不能な学習課題について、他者と情報を共有したり、意見の相違を乗り越え合意形成したりする必要が生じます。この協働的な学習に必要な汎用スキルを、理科でのNHK「コンリのちから」の継続視聴で育成。同時に学び方を学ぶ機会となりました。
	c	高橋 功太郎 (大阪府豊中市立東丘小学校)	NHK「コノマチ☆リサーチ」を継続視聴。学区の町に誇りと愛情を持ち、町の未来を自分事として考えることを目指しました。真に「自分事」として考えさせるために、リーダーの司会による発表を重ね、実践の経緯では「自分の町の未来を考える」授業そのものを子どもに託しました。	
10 【高校】 ICT機器や視聴覚教材を 活用した新しい授業の形	a	福本 年紘 (広島県立佐伯高等学校)	現在、社会的にIoT・ICTの導入が推進されている状況で、広島県の高校でもICT導入の教育効果を検証してきました。その代表的な取り組みにより期待される効果と課題から、高校でのICT活用の展望を考えます。	
	b	三浦 和博 (広島県教育委員会 高等教育指導課指導主事)	北山 竜太(広島県立湯南高等学校) 湯浅 慎介(広島県立高陽高等学校)	共通教科情報では、生徒が主体的に課題を見つけ、それを解決していくことができる力を身に付けることを目標の1つとして取り組んでいます。今回は、反転授業や視聴覚教材などを取り入れた授業の実践例を発表します。
	c	橋場 久徳 (東京都立津田高等学校)	日本の私立学校やアメリカでタブレット型PCを全生徒と教員が使う授業をするスタイルが定着しつつあります。ここで改めて、タブレット型PCを使うことの利便性を自分の実践を通して発表していきます。	
11 【生涯学習】 視聴覚ライブラリーの 学習支援機能を考える	a	佐藤 武 (広島県映像文化ライブラリー主幹)	当館では、子供たちが映画に親しみ、映像文化に関心を持つきっかけとなるよう、「ファミリーシアター」や「活用ワークショップ」などを開催しています。そうした、子供を対象とした事業への取り組みについて紹介します。	
	b	村上 長彦 (全視連専門委員長)	渡辺 景一 (日立市視聴覚センター副主事)	小学生対象の映像学習支援の取組みと実践報告並びに地域への出前映画会及び新たな試みで開催した「ひたちリネマスペシャル」の実践状況を取り上げながら、学校教育と生涯学習への支援状況及び課題について発表します。
	c	丸山 裕輔 (全視連副専門委員長(新潟県阿賀町立上条小学校長))	情意に訴え認知に働きかける映像教材。メディアのナビゲーターやインストラクターである人材。学習のツールやフィールドとなる教材や施設。視聴覚ライブラリーの特性が、生涯に渡って学びを支援することを提案します。	



申込方法

原則として、下記のウェブサイトからお申し込みください。

申込先 URL : <https://amarys-jtb.jp/godotaikai/>



参加費 3,000円 (OB・OG・大学生 1,000円)

振込先

三菱UFJ銀行 千代田支店 普通口座 口座番号:5337478
口座名義:株式会社JTB

申込締切

10月31日(水) ※11月2日(金)までにお振込をお願い致します。

申込にあたって

- ウェブサイト内では参加申込の他、宿泊、昼食、シャトルバスの申込を受け付けます。(各園・学校会場の近隣には、昼食提供場所がほとんどありません。)
- 申込登録の後に、ご入金手続きをお願いします。
- 振込手数料は、申込者のご負担をお願いします。
- *尚、申込後、変更が生じた場合は、ウェブサイトより変更・取消等の手続きをお願いします。

参加の留意点

- 無料のシャトルバスを下記の通り運行します(ウェブサイトより事前申込が必要です)
 - 11/16(金) 8:00~8:40 広島港から広島特別支援学校まで運行。
 - 11:30~ JR緑井駅及びアストラムライン中筋駅から川内小学校まで運行。
 - 11/16(金) 17:00 広島特別支援学校、城山中学校、川内小学校からおりづるタワー(レセプション会場周辺)まで

エクスクーションのお誘い

今大会の開催地 広島には、世界遺産(原爆ドーム、厳島神社)をはじめとするみどころがたくさんあります。大会翌日にご覧頂けるよう、コースを設定しました。詳しくは、申込先のウェブサイトをご覧ください。

お問い合わせ

全国放送教育研究会連盟事務局

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK 事業センター内
Tel.03-5455-4310 Fax.03-3481-1372
<http://www.zenporen.jp/>

一般財団法人 日本視聴覚教育協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビルB1
Tel.03-3431-2186 Fax.03-3431-2192
<http://www.javea.or.jp/soutai/>

広島大会実行委員会

実行委員長：大石信洋(広島市立久地小学校 校長)
事務局 長：石田寛治(広島市立大林小学校 校長) TEL.082(818)2403 FAX.082(818)5743

掲載内容は平成30年7月現在の情報です。都合により変更することがあります。詳しい大会の内容や参加申し込みについては、各団体のHPをご覧ください。